

地域社会への貢献

基本的な考え方

ミウラグループでは、世界が達成を目指すSDGs(持続可能な開発目標)を100年企業に向けた目標の一つとして捉え、CSR活動を積極的に推進しています。ミウラグループが事業活動を行っている国内外の各地域においても、コミュニティの持続的な発展や豊かな社会の実現を目指し、SDGsの視点を考慮した教育支援、環境保全、地域活動への協力など、さまざまな社会貢献・地域貢献の取り組みを行っています。

日本機械学会三浦賞

当社は、機械工学の分野で将来を期待される若者への顕賞を通して、日本のものづくりに貢献する人財育成に貢献しています。2004年度より日本機械学会にて、「日本機械学会三浦賞」を同会への寄付金提供によって設けています。

日本機械学会は、機械分野のリーディング学会であり多数の学生会員

を擁しています。機械工学および機械システムに関連する、国内の大学院修士課程または博士前期課程の優秀修了者を表彰することにより、日本のこれからの機械工学・機械工業を担う人財の活性化を図っています。

2019年度の実賞者は218名を数え、第1回からの累計受賞者数は2,977名に達しています。

愛媛大学の寄付講座

1999年から愛媛大学に寄付講座として「環境産業科学講座」を開設しています。また、2002年11月には、愛媛大学農学部構内に愛媛大学環境産業研究施設「三浦記念館」を建築し寄贈しました。同施設では、環境にかかわる分析・対策技術の研究開発と教育を通して、地球環境の保全や循環型社会の構築、人財育成に貢献することを目指しています。

具体的には食品や水、土壌などに含まれるPCBや残留農薬などの化学物質の新たな分析技術、室内環境のモニタリング技術などの研究開発に産官学連携で取り組んでいます。



三浦記念館

ミウラート・ヴィレッジ

ミウラグループでは文化・芸術にかかわる活動に積極的に協力しています。愛媛県松山市の本社地区には「ミウラート・ヴィレッジ」があり、従業員や地域の方々にはさまざまな美術品を鑑賞して楽しんでいただくことと創業者 故・三浦保の強い意志で建設されました。

2019年度は当社設立60周年ということで、入場無料の記念展を含む計8つの展覧会を開催。展覧会にあわせて作家によるギャラリートークも企画し、多くのお客様にご参加いただきました。また、2018年開催の「安倍安人展～改革する備前とその周辺」の図録「ABE ANJIN」が、第35回愛媛出版文化賞の奨励賞を受賞しました。今後も積極的に活動を行っていきます。



ミウラート・ヴィレッジ

ミウラメキシコ～COPARMEXに加盟

2020年1月より「COPARMEX」と呼ばれる経営者連合会に加盟する機会を得ました。「COPARMEX」はメキシコ国内14支部で構成され、約36,000社、国内総生産の30%を担う企業が加盟しています。

メキシコの大手清涼飲料メーカーに納品されたミウラ製ポイラが省エネルギーや環境負荷低減に貢献しているとして、ユーザーから加盟の推薦を得たことが加盟のきっかけとなりました。この連合会には5つのセクターに区分された17の委員会があり、そのなかでエネルギー委員会と環境委員会に所属することで、文字どおり省エネルギーと環境負荷低減を促進するための活動を行っています。毎月の定例会では国連や政府機関の代表者と具体的な改善策について議論がされており、2020年の年間行事として省エネルギーを実現しているユーザーの見学会やセミナーを行うアイデアが盛り込まれようとしています。

これらの活動を通してメキシコ企業の省エネルギーや環境負荷低減をさらに加速させたいと考えています。



COPARMEXの環境委員会

ミウラインドネシア～学生とともにGO GREEN活動

工場のあるカラワン県は、工業地域や住宅団地の建設に森林伐採が行われていました。その影響で最近では昔より乾季には水不足、雨季には洪水が発生しやすくなっています。若い世代への環境に対する教育の一環として、2019年9月に、ミウラインドネシアは第1国立カラワン高等専門学校の学生たちをインターンシップとして迎え、実務経験の機会を提供しています。また、省エネの取り組みとして老朽化した外灯照明の更新は、LED化を進めています。



植樹の様子

学生のインターンシップの様子(工場での実務体験と事務処理)

三浦教育振興財団

ミウラグループの創業者である故・三浦保は、1959年に愛媛県松山市でポイラの製造・販売を始めて以来、常に地域社会への貢献を念頭に事業を拡大させていきました。三浦工業株式会社を設立して30周年を迎えた節目には、地元愛媛県における教育振興に役立ち、少しでも地域社会、国際社会に貢献したいというかねての願いから、「三浦教育振興財団」を設立しました。

「三浦教育振興財団」は、愛媛県に在住し優れた才能と自ら学ぶ意欲を持ちながら、経済的理由により就学困難な学生に対して奨学金給付事業を行っています。当団体では、奨学金を給付するだけでなく、奨学生が広い視野で学業に取り組める各種サポートを提供するなど、経済的支援と同時に、人財育成への取り組みを続けています。



創業者 故・三浦保



ミウラート・ヴィレッジにある三浦保銅像

愛媛県「三浦保」愛基金

「愛媛県「三浦保」愛基金」は2007年に愛媛県により創設されました。本基金は、創業家による三浦工業株式会社の株式の寄付を原資としています。なお、この寄付は、創業者である故・三浦保の「事業の成功は自分だけの力ではない。お世話になった社会への恩返しをしたい。」という強い遺志によるものです。

本基金は、株式配当金を財源に、環境保全・自然保護や社会福祉などの分野において、団体への助成(公募事業)や県事業(県直営事業)に取り組んでいます。

●三浦保環境賞

「愛媛県「三浦保」愛基金」を活用した事業の例として、「三浦保環境賞」が挙げられます。「三浦保環境賞」は愛媛県内において環境保護活動を続けている個人または団体を紹介するとともに、特に優れた活動を表彰することで、愛媛における環境活動の普及・発展に寄与することを目的としています。